

見聞感動録
2nd season

高岡を
前へ

KAIKODU
A

循環
Circular Economy



みなさまへ
動画でご挨拶

photo by Kenichi Senbonmatsu

発災から 150 日を迎え、 目指すべき高岡の姿



元日に発生した令和 6 年能登半島地震から今日で 150 日を迎えます。

改めて、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方にお見舞いを申し上げます。

高岡市では 3 月 25 日に高岡市震災復興計画をお示しし、
その中で「強い高岡」を目指すという復興ビジョンを掲げました。

私はこの「強い高岡」には色々な想いを込めています。

蛇口をひねれば水が出るなどの当たり前を取り戻すための「インフラ『強』靱化」。

いつ起こるか分からない災害に備え、様々な計画を見直し、

行政や地域などの役割分担なども再確認していく「体制『強』化」。

災害が起きても市民全員が他の人の心にも寄り添える「災害と向き合う『強』い心」など、
これらのハード、ソフトの両面を強くし、「強い高岡」を目指す必要を感じています。

発災以降、心が痛む出来事が沢山ありました。

私だけではなく、その声は市職員や復興に全力で取り組んでおられる市民に対しても、
事実や根拠のない、個人的な感情に近い、心無い声が多数ありました。

誹謗中傷は一時の気持ちのはけ口やストレス発散になるかもしれませんが、
互いの気持ちがまとまることはありません。

それぞれの気持ちが一つにまとまらなければ、
復興に向け、前へと突き進む求心力は高まりません。

「1 日も早く日常を取り戻すために、やるべきことをやる。」

私をはじめ市職員、復興を本気で目指す方は全て同じ思いです。

将来のまちの姿を考え、現実と向き合い、顔をあげて、
前を向いて進む先にしか復興の光は存在していません。

被災された皆さんの辛く、悔しく、時に怒りを覚えられることがあること、

私は痛いほど理解していますし、私自身もそのような感情を抱くこともあります。

それでも誰かのせいにして、矛先を変えることは現実からの逃避だと自分に言い聞かせ、
諦めることなく、立ち向かってきました。

災害と向き合い、乗り越えていくためには、現状に怯むことなく、

各人が自分の今やるべきこと、未来を見据えて取り組むことを見出し、

それぞれの役割に対して、責任をもって取り組んでいくことだと思っています。

「今日より明日、明日より明後日」

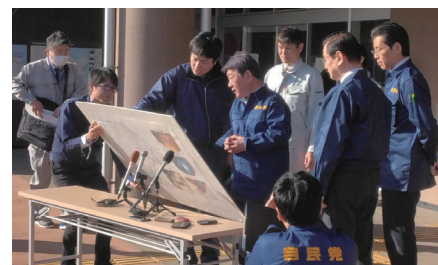
一歩ずつ、一日ずつ、着実に復興に向けて、歩みを進めていきます。

引き続き、復興に対し、全ての市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い致します。

令和 6 年 5 月 29 日

高岡市長 角田悠紀

復旧・復興
ロードマップは
こちらから
ご確認ください。



自然災害からの迅速な復旧

これまでの補正予算と

当初予算との一体的な予算として

65億6,373万8千円

今後とも、臨機かつ迅速な予算措置を行いながら、歩みを進めていく。

被災者支援

災害見舞金	1,000万円	被災住宅等除却支援	4,000万円
緊急移住支援金	600万円	まちなか空き家除却支援	600万円
被災家屋等の解体・撤去（公費解体）	10億円	地震被害ブロック塀等の撤去支援	1,000万円
空き家除却支援	950万円	賃貸型応急住宅の提供	4,211万円
倒壊したブロック塀等の処分補助	3,500万円	被災者生活再建支援金	6,350万円
液状化対策支援	6,000万円	木造住宅耐震改修支援事業	5億6,311万円
住宅の応急修理補助	9,684万円	被災住宅沈下傾斜支援事業	2億1,000万円
被災者生活再建特例支援金	6,000万円	被災者引越支援事業	4,000万円
災害廃棄物処分経費	1億円	空き家対策事業	2,000万円
災害援護資金貸付金	1,360万円	ごみ収集事業	565万円

被害を受けた公共施設等の復旧・修繕

液状化対策事業：再掲	6,000万円	地域防災計画推進事業	1,597万円
公園施設等災害箇所復旧経費	1億1,170万円	国補助土木施設災害復旧事業	7億5,000万円
道路・河川等災害箇所復旧経費	2億円	市単独土木施設災害復旧事業	1億8,200万円
学校緊急営繕経費（小・中・特別支援学校）	1億4,040万円	伏木駅前整備事業・公共交通活性化事業	7,700万円
市営住宅修繕経費	1,400万円	体育館施設改修等整備事業	3,740万円
自治公民館建設等事業費補助金	5,500万円	水道施設の災害復旧経費	4億1,225万円
災害復旧地域活動支援事業	2,000万円	下水道施設の災害復旧経費	19億9,558万円

「強い高岡」の構築を目指し、迅速かつ確に予算化をして参ります。
復旧・復興には被災地の方だけではなく、全ての市民の皆さんの力が不可欠です。ご理解とご協力、ご支援を何卒宜しくお願い致します。

復旧復興
予算について

動画で詳しく！

震災について



動画で詳しく！



令和6年度当初予算の紹介

一般会計

合併以降、過去最大予算

747億1,055万2千円

(対前年度比 8.4%) ↑

特別会計

673億7,450万5千円

(対前年度比 0.6%) ↓

合計

1,420億8,505万7千円

(対前年度比 4.0%) ↑

人件費	107.5 億円	対前年比	2.3%
扶助費	149.8 億円	対前年比	3.5%
公債費	85.6 億円	対前年比	3.5%
投資的経費	98.6 億円	対前年比	36.3%
物件費	112.6 億円	対前年比	23.5%
維持補修費	9.6 億円	対前年比	13.0%
補助費等	96.3 億円	対前年比	3.2%
積立金	5.0 億円	対前年比	4.3%
投・出資金	7.3 億円	対前年比	16.8%
貸付金	26.9 億円	対前年比	0.1%
繰出金	45.9 億円	対前年比	0.6%
予備費	2.0 億円	対前年比	100%
計【一般会計】	747.1 億円	対前年比	8.4%

予算の位置づけ

令和6年能登半島地震 甚大な被害
日常生活の“当たり前”を大きく揺るがす

市民一人ひとりが未来への希望を持ち
“当たり前”を“当たり前”として確保する
投資や活動、新たな挑戦をつなげ、
循環を生み出し難局を乗り越える
「持続可能な未来都市 高岡」の実現が可能

北陸新幹線
金沢 - 敦賀間が開業

交流人口の拡大
経済活動の活発化
大きな転機

これまでの
まちづくりで醸成

市民、企業、
地域が挑戦する意欲
挑戦を積極的に
応援していく機運

国内初の選定
資源循環モデル

カーボンニュートラルの
取組を本格始動
新たな局面

本市を取り巻く状況と情勢を踏まえ
新たな挑戦のステージに移行する大きな転換点

予算の特徴

未来につながる循環を生み出す予算

新年度予算案のテーマは「循環」です。



動画で詳しく！

- ▶子育てを支え応援する環境の充実
- ▶まちに関わる新たな繋がり創出と関係強化
- ▶世代や分野を超えた絆の育成と支え合い

ヒト
の循環

こども

モノ
の循環

- ▶脱炭素の推進
- ▶資源・製品等の再生を通じた付加価値創出
- ▶地域の強みを活かした産業の競争力強化

コト
の循環

- ▶デジタル技術活用による「ゆとり」と「豊かさ」の確保
- ▶新たな挑戦が生まれるための後押し
- ▶公共交通への投資と参画

地域で子育てすることが地域づくりになると考えています。



動画で詳しく！

地震災害からの迅速な復旧

「切れ目のない子育て支援の実現を目指して」

こどもまんなか政策の展開

妊娠・乳児	幼児	小・中学生	高校・大学 専門学校生
18歳までの医療費の無償化の継続			
第1子保育料・副食費軽減事業		放課後児童健全育成環境整備事業	めざせ日本一！こども挑戦応援事業
多子世帯（第3子以上）副食費軽減事業		こども版デジタル広報作成事業	ひとり親家庭等への大学等受験料支援事業
保育業務支援システム導入拡大		こどもの居場所づくりスタートアップ事業	インターンシップ推進事業
保育士等就労助成事業		フォートウェーン市との連携による英語教育の推進	めざせトップアスリート！応援事業
妊活サポート・プレ妊活健診	5歳児発達支援事業	障がい児福祉サービス支援事業	
0歳児からのコンサート開催事業	こどもとおでかけ事業		企業の課題発見力×若者の発想力課題解決プロジェクト
産後ヘルパー派遣事業	こども防火・防災リーダー育成事業		若者・女性のキャリアイメージ発信事業
子どものショートステイ（短期入所）支援事業			
高岡おとぎの森公園魅力向上事業			
子ども・妊婦インフルエンザ予防接種費助成事業 ※県事業含			
スポーツコア・リフレッシュ事業			
新規で取り組むもの		拡充して取り組むもの	

ヒトの循環

子育てを支え応援する環境の充実

前新 妊活サポート事業 **ゼロ予算**

ルナルナの協力のもと、アプリ利用に係る費用を無償化し、妊娠を希望する夫婦をサポート。

前新 プレ妊活健診事業 162 万円

妻の年齢が40歳未満で婚姻後3年以内の夫婦等を対象に、夫婦それぞれの健康状態のチェックと健康教育を無料で実施。

前拡 産後ヘルパー派遣事業 100 万円

産前の家庭やヤングケアラーがいる家庭を支援対象に加える拡充を実施。

前新 第1子の保育料・副食費軽減事業 1,247 万円

第1子の保育料半額と副食費軽減の支援を新たに実施。

前新 多子世帯（第3子以上）の副食費軽減事業 1,291 万円

所得制限を撤廃し、第3子以上の全てのこどもの副食費を軽減の支援を実施。

前新 こどもの居場所連絡協議会運営事業 **ゼロ予算**

こどもの居場所づくりを実施している団体等の意見交換を行うための連絡協議会を開催。

前新 高岡市こどもの居場所づくりスタートアップ事業 100 万円

県の「とやまっ子さんさん広場推進事業」の補助要件に満たない団体・事業所を対象に、将来的にステップアップすることを前提に、市独自の助成を実施。

前拡 保育士等就労助成事業 1,000 万円

潜在保育士（結婚、出産を機に退職した方など）を対象とした助成金支給や職場復帰のニーズ把握や求人情報とのマッチングを新たに実施。

前新 障がい児福祉サービス支援事業 1,373 万円

子どもの発達や障がいに関する相談事業の委託や計画相談によるケアプラン作成の対応件数増を図る事業所を新たに支援。

前拡 保育業務支援システム「Hoic」導入園の拡大 620 万円

保護者の利便性向上等につながるシステムをすべての市立保育園・認定こども園に導入。

民間企業からご提案いただきました、ゼロ予算での実施です。



動画で詳しく！



ヒトの循環

まちに関わる新たな人の繋がり創出と関係強化

前新 移住コンシェルジュ事業 461 万円

「移住後のサポート」の強化を図るため「移住コンシェルジュ」を任用。

新 移住サポートレンタカー利用補助金 30 万円

本市への移住を検討する際の下見等の現地活動する際のレンタカー利用料の一部を補助。

拡 たかおかウェルカム移住支援金 300 万円

高岡に住まい、働こうとする全国からの移住者を対象とした独自の移住支援金を創設。

前新 新高岡駅観光交流センターリニューアル事業 3,000 万円

新高岡駅の魅力向上と、駅利用者の利便性の向上を図るリニューアルを実施。

前新 宿泊クーポンを活用した誘客促進事業 1,600 万円

高岡に関心のある方をターゲットとして、宿泊割引クーポンを配布するキャンペーンを実施。

前新 「たかおか道しるべ」リニューアル事業 1,000 万円

「稼ぐ観光」に繋げるため、観光ポータルサイトのリニューアルを実施。



動画で詳しく！



世代や分野を超えた絆の育成と支え合い

前新 地域交流センターの設置 2 億 2,237 万円

市内各地区の多様な地域ニーズに対応し、地域による主体的な課題解決等の挑戦を支え、持続可能な地域活動の拠点施設とする「地域交流センター」を設置。

前新 地域活動活性化支援事業 3,510 万円

地域活動への若い世代の参画を促進し、次世代の地域活動の担い手の発掘を進め、持続可能な地域づくりに繋げることを目的とした意欲ある取組みを実施する地域を支援。

拡 空家等対策事業 3,462 万円

自治会等が実施する危険防止となる措置等に対する助成等を新設。

拡 高岡おとぎの森公園魅力向上事業 2 億 1,000 万円

にぎわい広場の再整備等、配置施設の見直しや老朽化した設備の更新等を実施。

拡 高岡古城公園景観再生事業 3,000 万円

樹木管理行動計画に基づき、樹木の伐採・剪定等を実施。範囲を拡大し、事業を加速化。

前新 市民病院地域包括ケア病棟設置事業

訪問看護と合わせ、急性期から在宅療養まで対応できる医療提供体制を整備。

次世代の若者が地域づくりに参画できる組織づくりをしていきたいですね。



地域のあり方について
動画で詳しく！



公園について
動画で詳しく！

ヒトの循環

地域の強みを活かした産業の競争力強化

拡 ものづくり持続的成長推進事業 2,086 万円

- ・サーキュラーエコノミー推進のため、廃棄物のアップサイクル等の新商品開発の支援を拡充
- ・特定地域への海外販路開拓事業に対し補助を拡充
- ・カーボンニュートラルの推進のため、事業者の省エネ診断費用を新たに補助

前新 コミュニティビジネス推進事業 1,000 万円

TASU で、地域が抱える課題解決に向けて起業等を行う人材育成セミナーや、市に寄せられる要望等を集約した課題と、その課題を解決する企業や NPO 等とのマッチングを実施。

前拡 海外販路開拓支援関連事業 2,656 万円

新たな販路の開拓（米国中西部地域等）を支援。

前新 企業の課題発見力×若者の発想力をつなぐ 課題解決プロジェクト 70 万円

市内企業には若者と連携して解決に取り組みたい課題を、若者には解決に向けた実践的な提案を募り、両者をマッチングする。

前新 未来プロジェクト（循環形成による地域課題解決事業補助） 300 万円

「地域の新たな活力を創出し付加価値を生み出す“循環”の形成」というテーマのもと、民間事業者のプロジェクトを公募・選定し、重点的に支援する。

脱炭素の推進

前新 脱炭素先行地域推進事業 4,000 万円

脱炭素先行地域の 2030 年カーボンニュートラル達成に向け、市内事業者などで構成する「高岡市カーボンニュートラル推進協議会」と協力し、域内施設の省エネ化に取り組む。

◇主な取り組み予定

- ・脱炭素先行地域内の民間建築における太陽光パネル設置補助金
- ・脱炭素先行地域内の民間建築における省エネ改修補助金
- ・御旅屋セリオ地下「さぁ、ECO ショールーム（仮称）」設計業務

まち全体を脱炭素の
ショールームに！



動画で詳しく！



拡 豊かな森づくりのための林業対策事業 3,591 万円

森林整備を促進させるため、森林の間伐や更新伐、植林に向けた整地等を拡大。

拡 3D 都市モデル整備・活用事業 6,500 万円

市民が豊かさや利便性を実感できるデジタル社会の実現を図るため、3D 都市モデルを整備。
令和 6 年度は、3D 都市モデルを活用して市民・事業者の太陽光発電システムの設置を促進するため、脱炭素先行地域を含むまちなか区域における太陽光発電のポテンシャルの推計を実施。
また、市民の円滑な避難行動に活用してもらうため、水害ハザードマップを 3D 化し、わかりやすい情報発信を実施。



脱炭素先行地域

資源・製品等の再生を通じた付加価値創出



動画で詳しく！

前新 空き家・空き店舗活用推進プロジェクト 800 万円

中心市街地の遊休不動産の活用を推進するため、所有者から物件を賃借・リノベーションし、借り手とマッチングするリノベーション事業者に対し、改装費補助や空き店舗等の情報提供を行う。また、遊休不動産の活用に向けた機運醸成を図るため、現地調査とともに物件所有者への継続的な意識啓発事業を実施。

前新 高岡産米需要開拓事業 100 万円

人口減少やライフスタイルの変化によって年々米の消費量が減少している中、水稻中心の本市の農業が、これからも成長産業であり続けることができるよう、米粉等、主食用以外の幅広い用途を検討し、新たな需要開拓を目指す。

前新 資源循環促進事業 2,532 万円

ごみ削減及び資源化率向上目標の達成に向け、プラスチック廃棄物の一括回収の開始 (R6.10)、木質系廃棄物 (剪定枝等) の資源化を実施。

前新 上下水道資源の循環活用調査 1,000 万円

施設敷地内での太陽光発電や、下水汚泥の肥料化、下水熱の利用など、上下水道の持つ豊富な資源・エネルギーを循環活用するための調査を実施。

モノの循環

デジタル技術活用による「ゆとり」と「豊かさ」の確保

前新 どこでも市役所関連事業 9,104万円

- ・書かないワンストップ窓口
- ・電子申請サービスにおけるオンライン収納の導入
- ・電子契約システム、入札参加資格申請システムの導入

自分の手の中に
市役所を！



動画で詳しく！

前拡 高齢者デジタル推進事業 736万円

介護予防・健康づくりを目的とした市独自のアプリの運用を開始。アプリの周知に加え、アプリを活用した健康づくりの取り組みや健康関連イベントへの参加に対しポイントを付与し、そのポイントに応じて、抽選で景品と交換できる企画も実施。

前新 こども版デジタル広報たかおかキッズニュース(仮称)作成事業 30万円

高岡市の未来を担うこども達に、楽しみながら高岡市の魅力や市政に関心を持ってもらうため、こどもの目線に立ったこども版デジタル広報を作成。

前新 消雪施設の DX 化 3,500万円

冬期間における安全・安心な道路環境の創出を図るため、降雪・積雪の状況に応じて迅速に消雪施設を作動させる市が管理する消雪施設に遠隔制御装置を設置して取水施設の稼働状況等を一括管理できる運用体制を構築。

公共交通への投資と参画

前新 公共交通人材確保・経営改善支援事業 1,000 万円

就職決定者に対する一時金制度や運転士紹介サービスの利用による情報提供社に対しての成功報酬等、交通事業者の人材確保や、「働きやすい職場認証制度」の取得を目指した職場環境の改善等の支援を新たに実施。

前新 自家用有償旅客運送担い手確保事業 100 万円

地区の PTA や児童クラブ連合会などから選出された若者や女性等が中心となって、自家用有償旅客運送の運転手等、担い手の確保に取り組みようとする活動に対し新たに支援する。

新 地域公共交通維持活性化基金 5,000 万円 (R5 年度 3 月補正)

持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持・確保のため基金を設置。

前新 雨晴駅展望デッキ AMAHARASHI VIEW(仮称) 整備事業 600 万円

雨晴駅に、立地を生かした新たな眺望点を設置するため、ホーム併設の展望デッキを整備するとともに、地元協力による駅周辺の環境美化を実施。

前新 万葉線の交通系 IC カード導入支援 3,194 万円

万葉線の交通系 IC カード「ICOCA」導入と普及に資するキャンペーン等に係る費用を支援。

新たな挑戦が生まれるための後押し

前新 市民病院アイセンター設置事業 2,580 万円

増加している白内障、緑内障患者に対応するため、眼科の医師数や診察室数等を充実。

前新 めざせトップアスリート！応援事業 150 万円

- ・プロスポーツ等による地域活性化支援費補助金の新設
- ・ネクストアスリート支援事業の新設

前新 めざせ日本一！こども挑戦応援事業 100 万円

- ・全国規模の大会に参加する高校生に対し、激励金を交付する大会を拡充
- ・芸術文化分野の全国大会への参加に対する奨励制度を新設

拡 スポーツコア・リフレッシュ事業 3 億 2,500 万円

イベント広場について、人が集う魅力ある施設となるよう、人工芝化を実施。

前拡 フォートウェーン市との連携による英語教育の推進 ゼロ予算

新たに小中学生・大学生の各世代でも英語交流の促進を図り、こどもたちが英語に苦手意識を持たず、臆することなく話せる環境を整備。

前新 ひitori親家庭等への大学等受験料支援事業 1,110 万円

一人ひとりのこどもが夢や希望を持つことができるよう、経済的課題を抱えるひとり親家庭等のこどもに対して、受験料等の支援。

新 地域公共交通維持活性化基金 5,000 万円 (R5 年度 3 月補正)

持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持・確保のため基金を設置。

前新 雨晴駅展望デッキ AMAHARASHI VIEW(仮称) 整備事業 600 万円

雨晴駅に、立地を生かした新たな眺望点を設置するため、ホーム併設の展望デッキを整備するとともに、地元協力による駅周辺の環境美化を実施。

前新 万葉線の交通系 IC カード導入支援 3,194 万円

万葉線の交通系 IC カード「ICOCA」導入と普及に資するキャンペーン等に係る費用を支援。



米国フォートウェーン市と英語教育の充実等について合意

市民の皆様とお約束した公約の進捗状況

公 約

新しい高岡をつくる具体策

104策

が

就任後

高岡を前へ進めるロードマップ

150策

へ

	検討着手	充実・拡充	予算化	ゼロ予算
取組数	150	150	111	39
比率	100%	100%	78%	26%

主な取組み

子育てを支え応援する環境の充実

- 妊活サポート事業
- プレ妊活健診事業
- 産後ヘルパー派遣事業
- 第1子の保育料・副食費軽減事業
- 副食費軽減事業
- 多子世帯（第3子以上）副食費軽減事業
- こどもの居場所連絡協議会運営事業
- 高岡市こどもの居場所づくりスタートアップ事業
- 保育士等就労助成事業
- 障がい児福祉サービス支援事業
- 保育業務支援システム「Hoic」導入圏の拡大

まちに関わる新たな人の繋がり創出と関係強化

- 移住コンシェルジュ事業
- 移住サポートレンタカー利用補助金
- たかおかウェルカム移住支援金
- 新高岡駅観光交流センターリニューアル
- 宿泊クーポンを活用した誘客促進事業
- 「たかおか道しるべ」リニューアル事業

世代や分野を超えた絆の育成と支えあい

- 地域交流センターの設置
- 若い世代と進める地域活動活性化支援事業
- 空家等対策事業
- 高岡おとぎの森公園魅力向上事業
- 高岡古城公園景観再生事業
- 高岡市民病院地域包括ケア病棟設置事業



選挙で掲げた「新しい高岡をつくる 104 の具体策」も今年度予算において全てを予算化し、動き出しています。選挙当時は市長という立場や職責に対する理解も甘く、今思えば至らない内容も多々ありましたが、就任後、市民、企業、地域、議会等の皆様からいただいたご意見やご協力のおかげで、私の頭の中にある「新しい高岡」の姿は、より未来につながるものへと進化しました。ここまでお力添えをいただいた皆様に心から感謝し、引き続きのご支援とご協力を何卒宜しくお願い致します。残された任期も変わらず、前を向いて突き進んで参ります。高岡を前へ。

持続可能な未来都市高岡

20年、30年先も赤ちゃんからお年寄りまで、
誰一人取り残さない豊かで暮らしやすいまち、そして市民・地域・企業等が、
主体的に活躍し、次の世代へとしっかり引き継いでいけるまちを目指しています。
持続可能な未来都市高岡の実現のため、新たな計画をスタートしました。

行財政改革推進プラン ～高岡再始動計画～

昨今の複雑化・多様化する行財政課題にも柔軟に対応できるように、
また、持続可能な行財政運営を目指すため、具体性と実効性を備えた計画を策定し、
高岡市を再始動（リスタート）します。

取り組みの視点

- 1 効率的で質の高い行政サービス**
行政課題に対応できる人材の育成・活用 等
- 2 市有財産の最適化と施設マネジメントの推進**
行政課題の適正化・長寿命化・有効化 等
- 3 市民の新たな挑戦と市民生活の安定を支える財政**
新たな歳入の確保、稼ぐ力の充実 等
- 4 多様な主体と共創・連携による市民サービスの構築**
市民が主役の地域づくり 等

数値目標

目的	指標	現在値 (R3)	目標値
公債費負担の適正化	実質公債費比率	12.2%	11.5%
中長期資金収支の健全化	将来負担比率	120.7%	99.0%
市民の負担	市民一人当たり市債残高	約 60 万円	10%減 (R3比)

公共施設再編計画（改訂）

高岡市では施設の老朽化や人口減少、少子高齢化等の課題に対し、
時代に必要とされている公共施設の在り方を検討し、2018年3月に
公共施設再編計画を策定し、取り組んできました。計画のスタートから5カ年が経過し、
築40年以上となる施設がさらに増加する中、これまで以上に計画的に
再編を進めていくため、公共施設再編計画を改訂しました。

計画期間

2023年度～2035年度（前計画の中期・長期）

- ▶ 始期を2023（R5）年度に統一して全体の見直し
- ▶ 施設特性に応じ終期を区分

計画的な施設再編の推進

- ▶ 保育施設やスポーツ施設など類似機能を有する施設群について個別計画・個別方針を策定

管理手法の検討・跡地等の活用

- ▶ 合理的な施設管理を行うため、維持管理業務の包括委託の導入を検討
- ▶ 施設再編により生じる跡地等の民間活力による有効活用を推進

市民の皆様とお約束した公約の進捗状況

公 約 新しい高岡をつくる具体策 **104策** が

就任後 高岡を前へ進めるロードマップ **150策** へ

	検討着手	充実・拡充	予算化	ゼロ予算
取組数	150	140	102	38
比率	100%	93.3%	68.0%	25.3%

主な取組み

子育て・子ども支援

- 子育てアプリ「ねねットたかおか」の利便性向上
- 市独自の不妊治療の助成をスタート
- 妊娠、出産時の給付金事業を拡充
- 産後ヘルパー派遣事業の拡充
- 新婚世帯の住宅取得支援事業スタート

地域課題解決

- 地域担当職員の配置（R4⇔3地区）
- 多機能自治の実施のためのモデル地区選定
- 市立公民館の
地域交流センター（仮称）化を推進
- 地域行事、祭礼を持続化するための
給付金支給

情報発信対策

- どこでも市役所をスタート
 - ・AIチャットボット
 - ・窓口混雑状況のリアルタイム配信
 - ・デジマップ@たかおか
- 公式ホームページのリニューアル（R5予算化）
- ワクチン予約専用LINEを
市公式LINEにバージョンアップ
- 戦略的広報実現に向け広報発信課の設置

産業・商業振興

- 県内初のシェアラウンジ付きスタート
アップ支援施設「TASU」オープン
- 新事業や人材活用のイノベーション創出
人材活用支援補助金等を新設
- 海外販路の拡大とものづくり力の発信を
目指すクラフトヴァレー事業の展開
- 中心市街地の活性化を目指した御旅屋人
マーケットの開催・エリア拡充
- 稼ぐ観光を目指し、賑わい集積開業等
支援事業のエリア拡大（伏木や吉久地区等）

市役所改革

- 職員の市長対話機会を創出
（新入職員、主任、係長、課長を対象）
- 市長ホットラインを庁舎1Fに設置

選挙の時には見えていなかった課題も市長就任後、多数見えてきました。
現状に満足することなく、今後も改善、見直し、拡充等を行っていき、
持続可能な未来都市高岡の実現を目指し、一步一步、進めて参ります。

coming soon

公約の達成状況については次号にて詳細をお届けします

ラジオ

「市長が聞きます 高岡未来展望」

市長就任後、ラジオたかおかの「市長が聞きます 高岡未来展望」という番組でパーソナリティーを務めています。これまで沢山の方にゲスト出演していただき、感謝しております。ゲストの皆さんから私の知らない高岡市の歴史や文化、各人の社会活動やプライベートまで、幅広くお話する事ができ、大事な学びの機会になっています。是非、一度聴いていただけると嬉しいです。



日常の1コマ パパ奮闘中!

息子も幼稚園の年少になり、毎朝バスで通っています。先生との挨拶の様子やバスの中から一生懸命手を振る姿に、子どもの日々の成長を感じています。今年は震災から始まり、私的な時間がほとんど取れず、父親として本当に何もしてあげていないのは淋しく、また心苦しいところですが、どんな時も「いってらっしゃい!」と送り出してくれる家族から力をもらい、市長として邁進できています。時には私に代わり、父親の担いも受けてくれている妻には本当に感謝しています。ありがとう。

動画で詳しく!



角田 ゆうきプロフィール

生年月日	1982年10月30日(41歳)
趣味	漫画、アニメ鑑賞、スニーカー収集
2001年 3月	高岡第一高校卒業
2005年 3月	立命館大学法学部卒業
2005年 4月	富山テレビ放送入社
2017年10月	高岡市議会議員
2021年 7月	高岡市長



石丸伸二安芸高田市長とは
同い年で仲良し!互いに挑戦中!



角田ゆうき公式ホームページ
各SNSも随時更新中!

お問い合わせ 角田ゆうき後援会・悠友会

〒933-0912

高岡市丸の内1-40 高岡商ビル7F

TEL:0766-50-8657 FAX:0766-50-8658